

基安労発 0713 第 3 号

令和 8 年 7 月 13 日

(公社) 全国労働衛生団体連合会会長

(公社) 日本人間ドック・予防医療学会理事長 殿

厚生労働省労働基準局安全衛生部

労働衛生課長

労働者に対する眼科受診勧奨について（協力依頼）

平素より、労働衛生行政につきまして、格別の御配慮を賜り厚く御礼申し上げます。

労働者の眼底検査については、労働安全衛生法の一般健康診断としては義務付けられていませんが、令和 7 年 12 月にとりまとめられた「労働安全衛生法に基づく一般健康診断の検査項目等に関する検討会報告書」においては、「視野欠損を早期に把握し、治療することによりその増悪防止を図るとともに、必要に応じて就業上の配慮を行うことで労働災害を防止することは重要である」とされています。

つきましては、事業場から労働者の定期健康診断等の実施依頼があった場合は、当該事業者に対して別添リーフレットを配布するとともに、貴会の施設内等でも当該リーフレットを掲示していただく等により、眼科の受診勧奨にご協力いただきますようお願いいたします。

なお、別添のリーフレットは、公益社団法人日本眼科医会のホームページからダウンロード可能です。また、紙のリーフレットについても同会より提供を受けることができますので、必要な場合は同ホームページをご参照のうえ、同会までお問い合わせください。

・公益社団法人日本眼科医会ホームページ



※お問い合わせ先：公益社団法人 日本眼科医会

代表電話：03-6810-3640

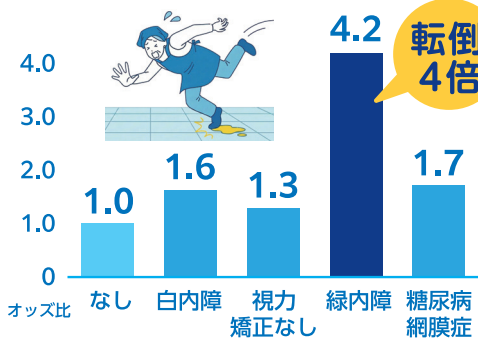
“見えている今”を守ることは “会社の未来”を守ること



企業健診に 眼底検査という選択を！

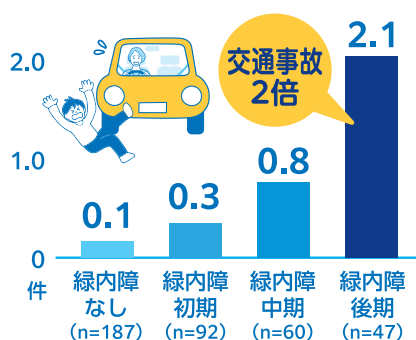
目の病気を放置した職場で懸念される労災などの例

転倒と視覚障害の関連性



Lamoureux EL, et al. Invest Ophthalmol Vis Sci. 2008

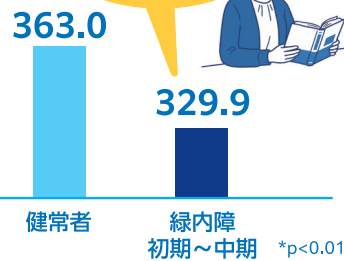
10,000km運転当たりの交通事故件数



Ono T, et al. J Ophthalmol. 2015

最大読書速度
(文字/分)

読む速度
の低下



Ishii M, et al. Jpn Ophthalmol. 2013

目の病気の早期発見・早期治療は、
従業員一人ひとりの生産性向上、労災リスクの軽減につながります

従業員の目も、会社の未来も守る具体策

✓ 健康診断に 「眼底検査」をプラス

年1回の眼底検査を加え、
健診後の
事後指導まで
確実に行きま
しょう。



✓ 見落としを防ぐ 環境づくりを

職場の4S(整理、整頓、清
潔、清掃)や作業場所の
照度を見直して、目の状
態にかかわらず、安全に
快適に働ける環境を。

✓ 「アイフレイル」 チェックの活用

加齢による目の
機能低下の
サインを従業員
が自ら気づく
ツールがあります。



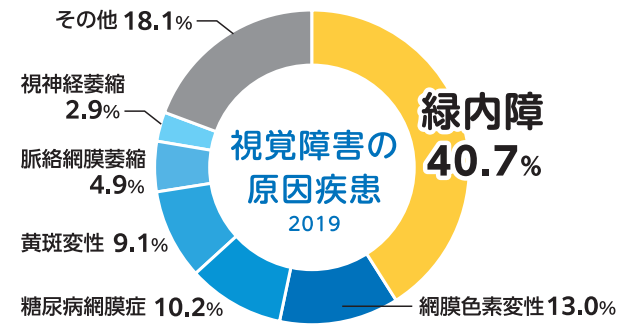
はたらく人の
目を守る眼科検診
ハンドブック



「見えにくくなる」原因の8割が眼底の病気です

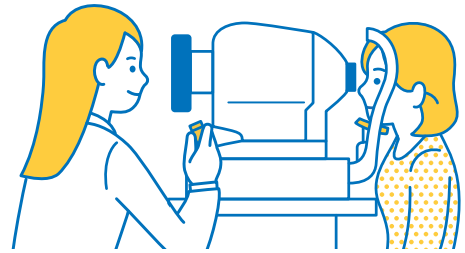
視力検査だけでは発見できません

年1回の健康診断に眼底検査を



Matoba R, et al. Jpn J Ophthalmol. 2023

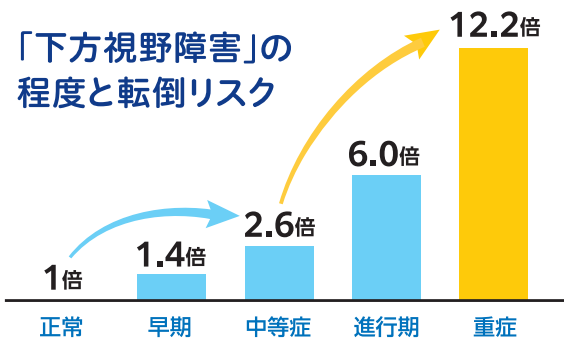
機能回復できない病気も多く、早期発見が大切です。



眼底とは目の奥の部分で、さまざまな病気を発見できる場所です。眼底検査では1枚の写真で、網膜・血管・視神経の状態がすべてわかります。検査後も速やかに業務復帰できます。

見落としを防ぎ、安全で快適に働ける環境づくりを

「下方視野障害」の程度と転倒リスク



Alex A Black, et al. Optometry and vision science 2011
Jones PR, et al. Ophthalmic Epidemiology. 2019 から作成

足元の危険に気づきにくくなるのが、転倒の一因です。

段差や水たまり、障害物を見落とさないように、職場を見直していきましょう。



アイフレイル(加齢による目の機能低下)の自己チェックも有効です

2つ以上該当したら眼科医への相談をお勧めしています。目の病気のサインを見逃さないでください。

1 目が疲れやすくなった	2 夕方になると見えにくくなるが増えた	3 新聞や本を長時間見るのが少なくなった	4 食事の時にテーブルを汚すことがたまにある	5 眼鏡をかけてもよく見えないと感じることが多くなった
6 まぶしく感じやすくなった	7 はっきり見えない時にまばたきをするが増えた	8 まっすぐの線が波打って見えることがある	9 段差や階段で危ないと感じたことがある	10 信号や道路標識を見落としそうになったことがある



視力検査・眼底検査で「要精密検査」となった方へ



心配しすぎないで

でも、後回しにしないで

精密検査で「見える生活」を更新しましょう！

「要精密検査=悪い病気!？」と心配しすぎたり、
「画像の写り具合のせいだろう」と後回しにしたりせず、
「見える生活」を続けるための大切なステップと考えて、
「リスクを知る」という前向きな気持ちで眼科を受診しましょう。



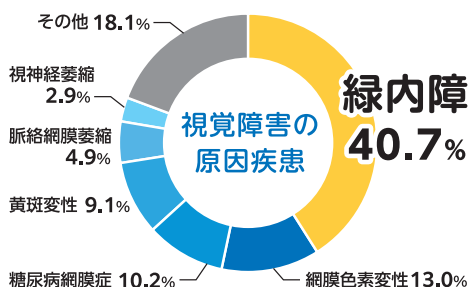
なぜ、「精密検査」が必要なの？

「見えにくくなる」原因の 8割は眼底の病気です



緑内障や糖尿病網膜症は通常の
視力検査だけでは発見できない
ため、眼底検査などが必要です。

視覚障害の原因、 第1位は「緑内障」



緑内障になると読む速度が低下し、
転倒は4倍に、交通事故は2倍に増える
というデータもあり、早期発見が重要です。

自覚症状がないまま、 静かに進行します



見えなくなってからでは元
に戻せないため、症状が出る前の
早期発見が極めて重要です。

今すぐできる！受診への2ステップ

STEP
1



健診結果を
手元に用意する

STEP
2



3ヶ月以内に近くの
眼科を予約する

予約した眼科を受診

検査は外来で完結



その日のうちに
業務などに戻れます



※散瞳が必要な場合は、
運転はできません。



公益社団法人 日本眼科医会
JAPAN OPHTHALMOLOGISTS ASSOCIATION

「精密検査」でどんなことをするの？

負担の少ない主な検査項目

視力検査



眼圧検査



眼底検査



視野検査



OCT検査 (眼科版のCT検査)

点眼で網膜や視神経を詳細に確認



一時的に瞳孔を広げる点眼を行い、目の奥にある網膜や視神経を、詳しく観察します。

※散瞳が必要な場合は、運転はできません。

専門医による診察



生活に合わせた眼鏡の相談もできます

眼底検査の結果と他のデータをあわせて、専門医がしっかり診察・診断します。

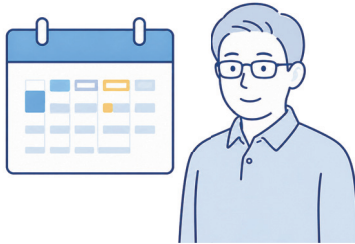
検査結果と次のステップ

異常がなかった場合



異常がなければ、安心につながります

経過観察が必要な場合



早期発見なら、治療不要や経過観察で済むことも多い

治療が必要な場合



早期に適切な治療を行うことで、目の健康を守ることができます



あなたの“見える”を守るために。

放置すると手遅れになるリスクもあります。まずは一度確認しましょう。